

三次元画像処理技術の開発 および応用



情報システム工学講座
准教授 中田 崇行

研究分野

画像認識、主に三次元画像取得、認識、表示

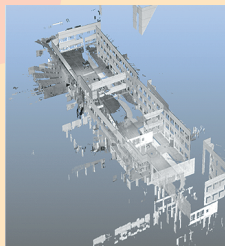
研究内容

- ◆三次元環境での位置姿勢認識
- ◆遠隔地の任意方向情景を立体的に観察できる装置
- ◆三次元立体情報の表示技術（3Dディスプレイ）

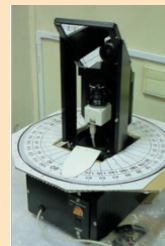
私の研究のポイント

3Dカメラや、そのデータを立体的に認識する技術、3Dテレビなど、昨今のコンピュータの劇的な速度向上にあわせてようやく実現の兆しが見える最先端、もしくは最先端を超えた未来の独創技術を作り上げることが本研究室の目標です。また、この技術を応用して、既存の技術に画像の分野から新たな付加価値を加える共同研究も多数行っています。

REPORT レポート



左：大学の三次元形状測定



右：全方位3次元カメラ

3次元へのアプローチはハードウェアにも及んでいます。本研究室では建物の3次元のマップ(左図)を元に、GPSが使えない室内の位置姿勢認識技術を開発中です。また右図は、当研究室で開発した360度全方位の任意の3D映像が取得可能な装置です。何万人でも、見たい方向が3Dで見られます！